

## 2025(令和 7)年度 特に優れた業績による返還免除候補者 申請要項

第一種奨学金の貸与を受けた大学院生のうち、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者を対象に、その奨学金の全額または半額を返還免除する制度を「特に優れた業績による返還免除」と言います。

2025(令和 7)年度に大学院第一種奨学金の貸与が終了する者を対象に申請受付を行いますので、申請希望者は下記をよく読み、手続きを行ってください。

記

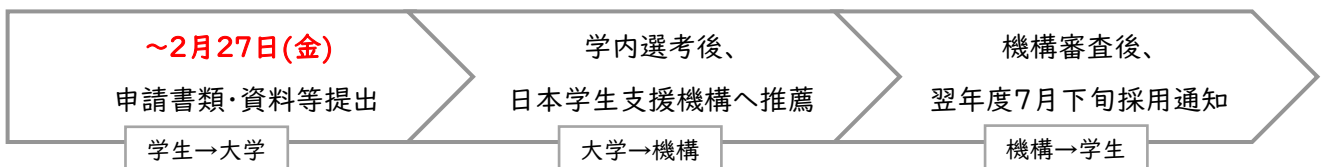
### 1. 対象者

2025(令和 7)年度に大学院第一種奨学金の貸与が終了する者

### 2. 本学の推薦枠数

若干名

### 3. 選考スケジュール



※学内選考は、学長および各研究科教員によって構成される選考委員会において、本学の推薦枠数を上限に推薦者を決定します。

※学内選考結果については、4月以降に申請書に記入されたメールアドレスへメールで通知します。

### 4. 申請書類等

必要な書類は以下の2種類です。具体的な書類の作成方法については次項をご覧ください。

①	2025 年度業績優秀者返還免除申請書(様式 I-A)
②	申請書に記載した全ての業績を証明する書類

## 5. 書類作成の手引き

### ① 2025 年度業績優秀者返還免除申請書(様式 I-A)

- ・Excel 様式をダウンロードし、記入例の書き方を参考に当てはまる業績等を入力後印刷してください。
- ・Excel 上の見た目と印刷ビューは異なります。印刷後が見やすいように文字が見切れたりしないよう注意して作成してください。

### ② 申請書に記載した全ての業績を証明する書類

- ・申請書に記載した業績について、それぞれ裏付け資料を用意(すべて写してよい)  
※詳細は PDF 資料「資料の必要項目及びページ数」を参考ください。
- ・業績を証明する書類は貸与終了時に在学している課程で、第一種奨学金の貸与期間中に挙げた業績が対象です。

### 【資料の必要項目及びページ数】

業績の種類	最大 ページ数	細目	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
1. 学位論文 その他研究論文	4	学位論文	○申請者の姓名(姓のみは不可)	・学位論文の表紙及び 冒頭(書き出し)のページ	・論文内容の 概要が添付さ れていない
			○論文タイトル		
			○論文内容の概要(下記のいずれかを 含む)		
			・本文の書き出しの部分 ・要約		
		研究論文	○申請者の姓名(姓のみは不可)	・論文の最初のページ 及び学術雑誌の表紙・ 目次	・学術雑誌等 名、発行年が 確認できない
			○論文タイトル		
			○発表年(月日はなくても可)		
			○論文内容の概要(下記のいずれかを 含む)		
			・本文の書き出しの部分 ・要約		
			【査読付きの場合のみ必要】 ○学術雑誌等名 ○学術雑誌等発行年(月日はなくても 可)		
		学会での発表	○申請者の姓名(姓のみは不可)	・学会のプログラムの 表紙とタイムテーブル および表彰状	・発表年、表 彰・受賞等が 確認できない
			○題目		
			○会議名		
			○発表年(月日はなくても可)		
			【表彰・受賞がある場合のみ必要】 ○表彰・受賞等(下記のいずれかを 含む)		
			・賞の名前(優秀賞等) ・順位 ・その他優秀であった旨 ・奨学金・外部資金を獲得した旨		

業績の種類	最大 ページ数	細目	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
1. 学位論文 その他研究論文	4	日本学術振興会特別研究員に採用、又は、民間財団等が公募している競争的資金を獲得	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○年度(月日は無くても可) ○下記のいずれか ・日本学術振興会特別研究員採用の旨 ・獲得した競争的資金の名称	・特別研究員審査結果通知書	・競争的資金獲得情報が確認できない
2. 大学院設置基準 16 条第 1 項に定める特定の課題についての研究の成果	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○研究の成果(下記のいずれかを含む) ・成果物自体 ・審査・試験に合格したことが分かるもの	・論文及び合格した旨が確認できる証明書	・資料の添付がない ・修士課程以外の学生が申請している
3. 大学院設置基準第 16 条の 2 に定める試験及び審査の結果	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○試験及び審査の結果(下記のいずれか) ・成果物自体 ・審査・試験に合格したことがわかるもの	・作品及び合格した旨が確認できる証明書	・資料の添付がない ・修士課程以外の学生が申請している
4. 著書、データベース その他の著作物 (第一号、及び第二号に掲げるものを除く)	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○著書、データベース等のタイトル ○下記のいずれか ・申請者が執筆、作成した文章・データの一部 ・申請者が執筆、作成した文章・データの要約 ○発行年(月日は無くても可)	・著書の表紙と奥付及び申請者が執筆した本文のページ ・データ集及びデータ集が掲載されているサイトの画面	・専攻分野との関連が確認できない ・発行年が確認できない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない。

業績の種類	最大 ページ数	細目	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
5. (専攻分野に関連した) 発明	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可)	・出願中の場合、 特許願 ・登録済の場合、 特許証	・資料の添付がない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない。
			○特許等の出願日あるいは認定日		
			○特許等の出願番号あるいは登録番号		
6. (専攻分野に関連した) 授業科目の成績	2	—	○申請者の姓名(姓のみは不可)。	・所属する大学の 成績証明書	・資料の添付がない
			○成績の詳細(下記のいずれかを含む。ただし、学内成績に関する資料は上記1点目あるいは2点目のみ提出可能) ・各授業の評価(A～F、優など) ・授業成績が全体の上位 X%であること ・外部試験に合格したことが分かるもの ・外部試験の得点が分かるもの		
			○年度(月日は無くても可)		
			○申請者の姓名(姓のみは不可) ○研究プロジェクト名あるいは授業名(専攻分野との関連が確認できる程度) ○年度(月日は無くても可)	・勤務状況報告書(勤務の実績が確認できるものの)	・専攻分野との関連が確認できない
7. (専攻分野に関連した) 研究又は教育に係る補助業務の実績	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可)		
			○研究プロジェクト名あるいは授業名(専攻分野との関連が確認できる程度)		
			○年度(月日は無くても可)		
8. (専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可)	・発表会のプログラム及び表彰状	・成績が確認できない ・専攻分野との関連が確認できない
			○発表会名		
			○年度(月日は無くても可)		
			○成績(下記のいずれかを含む) ・賞の名前 ・順位 ・優秀であった旨		



業績の種類	最大 ページ数	細目	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
9. (専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	3	—	<input type="checkbox"/> 申請者の姓名(姓のみは不可) <input type="checkbox"/> 競技会名 <input type="checkbox"/> 年度(月日は無くても可) <input type="checkbox"/> 成績(下記のいずれかを含む) ・賞の名前 ・順位 ・優秀であった旨	・競技会のプログラム及び表彰状	・申請者名が確認できない ・専攻分野との関連が確認できない
10. (専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	3	—	<input type="checkbox"/> 申請者の姓名(姓のみは不可) <input type="checkbox"/> イベント等の名称(専攻分野との関連が確認できる程度) <input type="checkbox"/> 年度(月日は無くても可)	・イベントのプログラム及び参加を依頼されたことが分かるメールの文面 ・参加した活動の名称が記載された参加者名簿	・申請者が活動において実際に行った内容が読み取れない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない ・写真や新聞記事など、本人が参加したことの確認が取れない書類が提出された
11. その他機構が定める業績	—	—	内容に関する証明書は不要です。 返還免除内定者が修業年限内に課程を修了できる場合の評価項目です。推薦理由書の「特に優れた業績の該当項目」の 11 番に○を記入してください。		

※全て A4 サイズに統一し、複数枚のものは資料番号ごとにクリップ留めのこと(ホッチキス不可)

※業績を証明する書類にはすべてのページに資料番号を記載すること

※氏名等が多数ある資料はマーカーなどを使用し、裏付け箇所をわかりやすくして提出すること

## 6. 提出先(問い合わせ先)

【提出期限】 2026 年 2 月 27 日(金) 17:00(郵送可・必着)

【提出先】 学生支援センター JASSO 奨学金窓口

＜ポートアイランド第1キャンパス＞ A 号館 1 階 2 番窓口

＜有瀬キャンパス＞ 3 号館 1 階 2 番窓口

(土日祝を除く 9:00-11:45、12:45-17:00)

【問い合わせ先】 ＜ポートアイランド第1キャンパス＞ 078-974-4084

＜有瀬キャンパス＞ 078-974-1607

## 7. 留意事項

- (1) 推薦にかかわらず貸与終了者においては、口座振替（リレー口座）の加入手続きが必要です。  
まだ手続きをしていない方は早急に行ってください。
- (2) 返還免除の認定結果が判明するまで、申請者または申請者の連帯保証人等から繰上返還を行わないでください。
- (3) 採用者となった場合、ある程度の年数経過後に、日本学生支援機構から本制度の改善をはかることを目的として、直接本人へ調査の協力をお願いされることがあります。

### 【参考】日本学生支援機構に定められる業績の種類と評価基準

※項番 2 及び項番 3 について、博士（後期）課程は該当しません。

大学院設置基準第 16 条第 1 項及び第 16 条の 2 は、それぞれ、修士課程及び博士前期課程の修了要件に関する規定です。

NO.	業績の種類	機構が定める評価基準
1	学位論文その他の研究論文	学位論文の教授会での高い評価、関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載又は表彰等、当該論文の内容が特に優れていると認められること
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	特定の課題についての研究の成果の審査及び試験の結果が教授会等で特に優れていると認められること
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期の課程において修得し、若しくは涵養すべきものについての試験の結果が教授会等で特に優れていると認められること、又は、博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期の課程において修得すべきものについての審査の結果が教授会等で特に優れていると認められること
4	著書、データベースその他の著作物(第1号及び第2号に掲げるものを除く。)	専攻分野に関連した著書、データベースその他の著作物等（第1号及び第2号に掲げる論文等を除く。）が、社会的に高い評価を受けるなど、特に優れた活動実績として評価されること
5	発明	特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得ていると認められること
6	授業科目の成績	講義・演習等の成果として、優れた専門的知識や研究能力を修得したと教授会等で高く評価され、特に優秀な成績を挙げたと認められること
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等による補助業務により、学内外での教育研究活動に大きく貢献し、かつ特に優れた業績を挙げたと認められること
8	音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における発表会等で高い評価を受ける等、特に優れた業績を挙げたと認められること
9	スポーツの競技会における成績	教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等で優れた結果を収める等、特に優れた業績を挙げたと認められること
10	ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績	教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的に高い評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績であると評価されること
11	その他機構が定める業績	返還免除内定者は、本機構が定める貸与奨学金の停止又は廃止の事由（貸与奨学規程第19条第2項又は第21条第1項）に該当することなく修業年限内で課程を修了すること。ただし、修業年限の終期より前に貸与期間が終了となる場合は、修了する見込みであること

【参考】博士課程の業績評価に関するガイドライン

令和元年 11 月 21 日改定

博士課程の業績評価に関するガイドライン

博士課程において、業績の種類「学位論文その他の研究論文」が下記の(1)～(5)のいずれかに該当する場合、業績優秀者とする。(※1)

なお、返還免除内定者である場合、及び、業績の種類「音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績」あるいは「スポーツの競技会における成績」において、国際的レベル・全国的レベルでの顕著な成績（入賞）等を収めている場合（※2）は、下記の(1)～(5)のいずれにも該当しない場合でも業績優秀者とすることができる。

記

- (1) 学位論文の教授会での高い（平均水準以上）評価  
(注) 合否判定だけではなく、大学による評価が必要。学位論文受理中を含む。
- (2) 査読付き学術雑誌への原著論文掲載  
(注) 共著（筆頭者以外）も含み、掲載決定（予定）も含む。
- (3) 論文及び学会での発表に対する表彰又は受賞  
(注) 共著（筆頭者以外）も含み、機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得を含む。  
学会での発表にはポスター発表も含む。
- (4) 日本学術振興会の特別研究員に採用され奨学金貸与を辞退した場合、または、これと同等な民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退することとなった場合、上記(1)～(3)に準じる実績
- (5) 研究領域の特性により前記(1)～(3)の実績を挙げるのに時間を要することなどから、同じ研究領域の博士課程学生のうち概ね半数以上が在学中に当該実績を挙げられない場合は、当該実績に準じる実績  
(注) 大学が作成する事情書を要し、日本学生支援機構の業績優秀者奨学金返還免除認定委員会（以下、「本機構の認定委員会」という。）に諮るものとする。

(※1) 平成30年度以前に奨学生に採用された者については、「学位論文その他の研究論文」以外の業績において上記(1)～(3)と同水準の実績が認められる場合も業績優秀者とする。

(※2) 業績の種類「スポーツの競技会における成績」における国際的レベル・全国的レベルでの顕著な成績（入賞）等には、本人がコーチやトレーナーなどの場合において指導した者やチームが国際的レベルや全国的レベルの大会での入賞を含めるものとし、東日本大会・関東大会など（各都道府県大会は除く）は全国的レベルの大会に含めるものとする。

業績の種類「音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績」における国際的レベル・全国的レベルでの顕著な成績（入賞）等には、公募展での入選（賞）、給付奨学金の獲得、個展又はリサイタル（3回以上）及び芸術評論等（学外の刊行物への掲載3回以上）を原則的に含めるものとする。ただし、本機構の認定委員会に諮るものとする。

◆ 修士課程(博士前期課程)及び専門職学位課程は本ガイドラインの適用対象外とする。

以上